

編集後記

本年度も『哲学の探求』が無事に発刊となりました。ひとえに、原稿を執筆してくださいました笠木先生、村山先生を始めとする 13 名にも及ぶ執筆者の皆様、並びに編集に協力してくださいました方々のご協力のおかげです。この場を借りて、改めて御礼申し上げます。重ねて、今後とも哲学若手研究者フォーラム、並びに『哲学の探求』への末永いご支援とご助力をどうかよろしくお願い申し上げます。

編集に際して、私の作業ミスや情報伝達の齟齬といった不手際で多くの方々にご迷惑をおかけし、結果として本誌発刊が遅延しましたことを、深くお詫言申し上げます。特に共に編集作業を行っていた過能さんには、ご負担をかけてしまったのではと猛省している次第です。過能さんをはじめ、原稿執筆者の皆様、そして編集協力者の方々には、私のような未熟者との共同作業は大変なご不便をおかけした事と存じますが、それでも最後まで編集作業と一緒にやり遂げてくださった事に心から感謝しています。

今回の編集作業で、学術研究という営みが多くの人々に支えられているのだと深く実感する事が出来ました。私のような若輩者にこうした学びの機会を与えてくださった哲学若手研究者フォーラムには感謝してもしきれません。特に、私に声をかけてくださった前総務の宮田さんにはより一層の感謝を申し上げます。他のフォーラム運営委員の皆様のように、上手く貢献出来ているのかは分かりませんが、それでも自分に出来る精一杯の形でフォーラムの発展に尽くしていきたいと思えます。今後とも醜態を晒すかもしれませんが、何卒、温かい目で見守って頂ければ幸いです。

最後に、原稿を執筆して下さった方々、編集に協力して頂いた皆様、本誌を心待ちにされていた方々、同フォーラムに参加された全ての皆様に再度、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

『哲学の探求』編集担当 池田 信虎

編集作業を通じて多くの方々に大変お世話になりました。テーマレクチャーだけでなく『哲学の探求』へ寄稿して下さった笠木先生、村山先生初め、原稿を投稿して頂いた皆様、編集協力者の方々に感謝いたします。また、皆さんの多大なご協力にかかわらず、当初の予定より公開が遅くなってしまったことをお詫びいたします。

今年度原稿を募集する第 48 号から編集工程が大幅に簡略化され、さらに校正作業において「内容へのコメント」を許容するようにもなります。編集工程と内容が変化する年かつ、オリンピックで開催時期がずれるとともに編集作業のスケジュールもさらに変更した上で、コロナ禍によりさらに変更が加えられ、なんとも難しい状況が続いています。早く状況が収束することを願っています。

スケジュールと編集工程の変更やコメントの有無を選択できることもあり、これまでよりも『哲学の探求』へ投稿しやすくなっていると思います。気軽に投稿していただければと思います。

他の運営委員の方々と議論しながらスケジュールの変更を考えたり新しい要素を増やしたりしていくのは、主体的に関わっている感じがとても強く、貴重な体験となりました。

最後にご協力いただいた皆様に重ねて感謝いたします。当フォーラムが有志の力で成り立っていることの素晴らしさと大変さを理解しました。本当に、ありがとうございました。

『哲学の探求』編集担当 過能 洋平